

## 研究課題「下顎無歯顎患者への即時荷重インプラントオーバーデンチャーの機能評価と生存分析」へのご協力をお願い

現在当科では実験にご協力頂ける下顎無歯顎患者を探しております。皆様のなかでインプラントオーバーデンチャーに興味のある方がおりましたら、下記連絡先までご連絡頂ければ幸いです。

### (1) 研究の概要について

研究題名：下顎無歯顎患者への即時荷重インプラントオーバーデンチャーの機能評価と生存分析

研究期間：平成 21 年 7 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日

実施責任者：東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科全部床義歯補綴学分野

助教 金澤 学

〒113-8549 東京都文京区湯島 1-5-45

電話：03-5803-5907、5563(ダイヤルイン)

### (2) 研究の意義・目的について

下顎の全部床義歯は専門医が作成しても良好な結果を得ることが難しいと言われています。そのため、欧米では下顎に歯が一本も無い方に対する治療法の第一選択はインプラント2本を使用したインプラント義歯(図1)であるとされています。しかし、現在のインプラント義歯の術式では手術後に義歯が使用できない期間があり、患者さんに不便を強いることとなります。

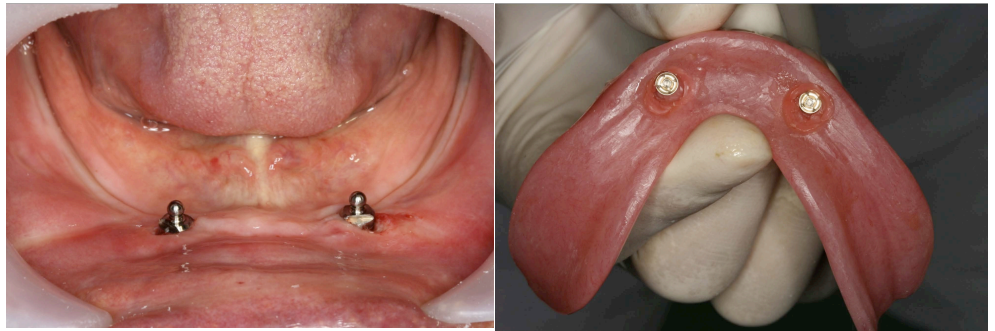


図1. インプラントが2本埋入された口腔内(左)とインプラント義歯(右)  
インプラントにつけられたアタッチメントと呼ばれる突起を、インプラント義歯側についた穴にはめ込むことにより、義歯を安定させます。

これらの問題を解決する術式として、コンピューターガイドを利用した手術によるインプラント義歯が考えられます。具体的には、CT画像からPC上でインプラント埋入シミュレーションを行い、サージカルガイド(図2)という装置を作成します。このサージカルガイドを利用して歯肉を大きく切開すること無く、左右2本インプラントを埋入します。そして、手術同日にアタッチメントを装着し、即日から通常食を摂取して頂きます。



図2. サージカルガイド  
この装置を口の中に装着し、穴の空いている部分にインプラントを埋入します。この装置を使用することによって、大きく歯肉を切らずにインプラントを埋入できるようになります。

この研究の目的は、新しい術式のインプラント義歯の機能評価と予後調査を行うことです。

### (3) 研究の方法について

新しい術式にてインプラント義歯を作成し、それを使用して頂きます。その過程でインプラント義歯の機能評価を行います。

#### 1. 治療方法

- i. 下顎の義歯を作製します。
- ii. 作成した義歯を装着した状態でCT撮影を行い、サージカルガイドを作製します。
- iii. サージカルガイドに基づき、左右犬歯部位へインプラントを2本埋入します。インプラント埋入手術終了後に義歯にアタッチメントを装着します。手術当日から義歯を使用して頂きます。
- iv. 6ヶ月後、新しいインプラント義歯を作製します。

#### 2. 機能を評価する方法

- i. アンケートによる咀嚼能力評価  
「使用中の義歯に関する食品アンケート」、「OHIP-J」というアンケートに答えて頂きます。
- ii. デンタルプレスケールによる咬合接触状態測定  
デンタルプレスケールというシートを3秒間咬んで頂きます。
- iii. 咀嚼力判定ガムによる咀嚼能力評価  
咀嚼力判定ガムを40回咀嚼して頂きます。
- iv. 篩分法による咀嚼効率評価  
ピーナッツ約 3.0 g を 5 回, 10 回, 15 回, 20 回および 30 回自由咀嚼して頂き、咀嚼終了後に回収致します。
- v. パノラマX線写真によるインプラント周囲骨の計測(インプラント埋入後)  
左右両側インプラント部のパノラマX線写真撮影を行います。

#### 3. 機能を評価するために来院して頂く時期

- ・ 旧義歯(初診時に使用中の義歯)使用時
- ・ 全部床義歯装着時
- ・ インプラント埋入手術 1 ヶ月後
- ・ インプラント義歯装着時(インプラント埋入6ヶ月後)
- ・ インプラント埋入 12 ヶ月後
- ・ インプラント埋入 24 ヶ月後
- ・ インプラント埋入 36 ヶ月後
- ・ インプラント埋入 48 ヶ月後
- ・ インプラント埋入 60 ヶ月後

#### 4. 機能評価にかかる時間

毎回約 1 時間を予定しています。

#### (4) 予測される危険や不利益について

通常のインプラント治療の範囲内で行いますので、特別に危険が増えることはありません。手術の危険性は通常のインプラント埋入手術と変わりません。

#### (5) 費用について

治療開始からインプラント埋入までの治療費は被験者の方の負担となります。負担金額は被験

者の方の状態により多少変わりますので、詳しくは担当医から説明致しますが、約 50 万円です。インプラント義歯製作にかかる経費は全部床義歯補綴学分野研究費で負担致します。作成したインプラント義歯は研究終了後に被験者の方に譲渡致しますので、そのままご使用頂けます。